

産科・周産母子センターに通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 当科における妊娠中ならびに分娩後における静脈血栓塞栓症の発症予防の成績を評価する

[研究機関] 北海道大学病院産科・周産母子センター

[研究責任者] 森川 守 （産科・周産母子センター 准教授）

[研究の目的] 妊娠中ならびに分娩後は血液凝固・線溶系の亢進によって静脈血栓塞栓症 VTE（深部静脈血栓症 DVT ならびに肺血栓塞栓症 PTE）が発症しやすいです。この静脈血栓塞栓症 VTE は重症な場合には母体死亡の原因になります。したがって、妊娠中または産後の静脈血栓塞栓症 VTE の発症を予防することが重要です。本研究の目的は、妊娠・産褥期に静脈血栓塞栓症 VTE が発症した際の当科におけるこれまでの対応方法を振り返り、今後の VTE への対応方法における留意点を明らかにすることです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

北海道大学病院産科・周産母子センターで 2009 年 1 月～2016 年 12 月までの 8 年間に妊娠中に静脈血栓塞栓症 VTE（深部静脈血栓症 DVT ならびに肺血栓塞栓症 PTE）と診断された妊婦（15 名程度の見込み）

●利用するカルテ情報

年齢、妊娠・分娩歴、身長ならびに非妊娠時体重、VTE の発症リスク因子（血栓性素因や肥満、喫煙歴、低用量ピル使用歴など）の有無、VTE の発症既往（有無、発症時期、VTE の治療法ならびに再発予防法）、妊娠悪阻の有無ならびに治療、妊娠中の手術施行の有無、分娩週数、分娩様式（帝王切開または経膈分娩）、妊娠中または産後の VTE の発症時期、VTE の治療法ならびに再発予防法、血液検査結果（VTE 発症に関連する D-dimer など）、超音波検査、CT/MRI 画像検査結果、新生児の予後（出生体重、性別、アプガースコア）など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/6932(医局)

FAX 011-706-6932